

衛生

管内の水道普及率は、令和3年度末現在で92.9%となっており、全道水準(98.3%)を下回っています。

また、管内の生活排水処理については、下水道の普及が進んでいないこともあり、令和2年度末日現在の汚水処理人口普及率が80.8%と、全道水準(96.1%)を大幅に下回っていますが、それを補完するように、合併処理浄化槽の普及率は13.4%と全道水準(3.2%)を上回っています。

今後も、生活排水処理施設の一層の整備促進が望まれます。



日高町日高浄化センター

■水道 (R4.3.31 現在)

区分	行政区域内人口(人)(A)	許可等施設数				現在給水人口(B)	普及率(B/A)(%)
		上水道	簡易水道	専用水道	計		
管内	62,405	5	8	8	21	57,988	92.9
全道	5,157,694	89	190	531	810	5,069,700	98.3

(環境生活部環境保全局環境政策課「令和3年度北海道の水道」)

■汚水処理 (R4.3.31現在)

区分	行政区域内人口(人)(A)	公共下水道	農業集落排水施設	漁業集落排水施設	個別処理(合併処理浄化槽)(C)	処理人口(B)	汚水処理人口普及率B/A(%)	合併処理浄化槽普及率C/A(%)
管内	62,190	38,956	2,036	90	8,376	50,305	80.8	13.4
全道	5,156,058	4,731,271	54,162	8,964	165,698	4,960,095	96.1	3.2

(建設部まちづくり局都市環境課「北海道の下水道2021」)

交通安全

令和3年の管内の交通事故発生状況は、発生件数は前年より5件減少49件、死者数は前年より1人増加し3人、傷者数は前年より12人減少し56人でした。

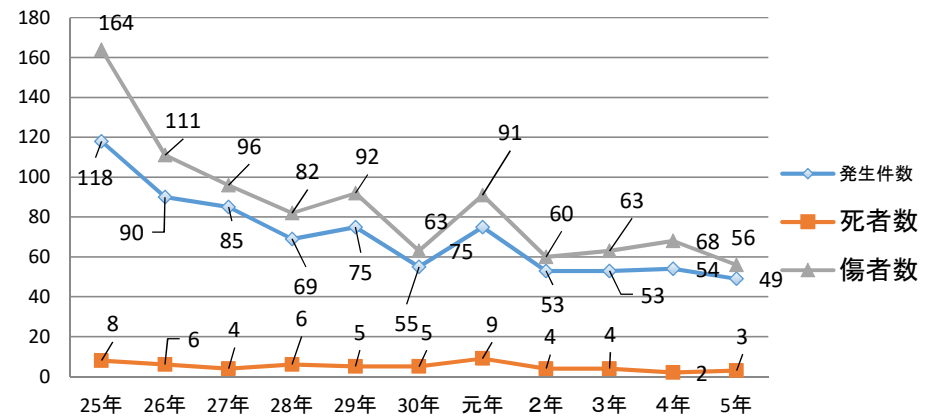
死者数の3人は、それぞれ「人対車両」「車両相互」「車両単独」によるものでした。

管内の交通事故発生状況を過去10年の推移でみると、「発生件数」「死者数」「傷者数」は約4割程度にまで減少しており、総じて漸減傾向が続いています。

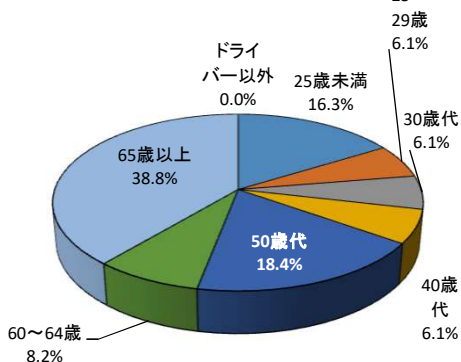
しかし、加害者、被害者ともに高齢者の事故が多く発生していることから、今後も、高齢者に対する啓発をはじめ、各種交通安全対策の推進が必要です。

■交通事故の推移

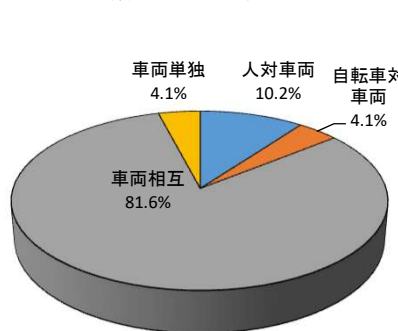
発生件数(件)/死者(人)/傷者数(人)



■第一当事者年齢別発生件数(令和5年)25~



■事故類型別発生件数(令和5年)



■法令違反別発生件数(令和5年)

